

## 第20回丹波篠山カップ開催要項

- [大会名] 第20回丹波篠山カップ（愛称：ささやまカップ）  
[主催] 兵庫県ホッケー協会、丹波篠山市ホッケー協会  
[支援] HC HYOGO HEARTS  
[会場] 丹波篠山総合スポーツセンター人工芝グラウンド（TEL：079-552-8681）  
兵庫県丹波篠山市郡家 451-4  
[期 日] 令和4年11月3日（木・祝）  
[種 別] 小学男子の部、小学女子の部、キッズの部  
原則として、次の要件にて参加いただくこととします。  
ただし、対応が困難な場合は申込時に主催者にご相談ください。  
①小学男子の部、小学女子の部では、必要な装具を装着したゴールキーパーを配置してください。  
②ユニフォームで参加してください。（難しい場合はピブスも可）  
③キッズの部の参加学年は小学3年を上限とします。
- [チーム編成] 1チームの編成は、チーム代表者1名、監督1名、コーチ1名、手当てをする者2名以内、選手6～16名とします。病欠等による欠員発生も想定し、試合成立のため、できるだけゆとりをもった選手数での編成をお願いします。
- [競技規則] 2022年度適用の日本ホッケー協会6人制ホッケー競技規則に準拠します。また、競技運営は、別に定める「第20回丹波篠山カップ競技運営規定」によります。
- [競技方法] 参加申込チーム数に応じて主催者にて設定します。
- [参加料] 1チーム1000円（当日集金）
- [大会運営] 参加チームの皆さんに運営面での協力を依頼する場合があります。

### [申込方法] ※会場及び日程に限りがあるため、今回は招待チームのみ参加での開催とします。

参加申込書に必要事項を記入の上、**令和4年10月14日（金）午後5時**までに、メールによりお申し込みください。

チームエントリーを原則としますが、人数的にチーム編成が困難な場合は、個人エントリー用の参加申込書に必要事項を記入しお申し込みください。主催者にて他団体所属選手との混成によるチーム編成を行い、選手一人ひとりの試合機会の創出を目指します。（参加料の負担割合はチーム編成後にご相談）

[申込先] 丹波篠山市ホッケー協会 岡花 宏明 携帯090-3271-1636

E-mail : [hchyogohearts@yahoo.co.jp](mailto:hchyogohearts@yahoo.co.jp)

[変更追加] 選手やチームスタッフの変更・追加、背番号変更があるときは、令和4年11月1日（火）までに、その内容をメールにより届け出てください。

- [その他] (1) 競技日程・組合せは、主催者で決定し、事前に参加チームにお知らせします。  
(2) 参加者は必ず傷害保険に加入してください。万が一、負傷等の事故が発生した場合、病院搬送・治療等については、原則、各チームの責任において対応してください。（重傷の場合は、大会本部から救急要請する場合があります。病院への付き添いやその後の送迎等はチームにて手配をお願いします。）  
(3) 宿泊や食食が必要な場合は、各チームにて手配してください。  
(4) 駐車場については、次のとおりご利用ください。  
普通車 丹波篠山総合スポーツセンター駐車場  
ただし、満車の場合は旧兵庫県篠山庁舎駐車場をご利用ください。  
バス 旧兵庫県篠山庁舎駐車場（会場北東側に隣接する施設です。）  
※丹波篠山総合スポーツセンター駐車場は離合・転回が困難です。  
(6) 天候等の理由により大会を中止・中断する場合があります。また、天候や競技の進行状況によっては、競技時間を変更する場合があります。円滑な競技進行にご協力をお願いします。  
(7) その他、大会運営に係る疑義が発生した場合は、主催者にて協議・決定します。

# 競技運営規定

## [特別規定] 大切♡

本大会は、育成世代の選手にとって、①選手自らの主体的・自発的な活動の機会であること、②選手相互のコミュニケーションに基づく意思決定が活性化する機会とすること、③ゲームパートナーの魅力を認識し相互に高め合うこと、また、④育成世代の活動に関わる指導者や保護者等にとって、スポーツの理念や文化的価値、子どもたちとの関わり方を改めて認識する機会とすることを目的に、次のとおり特別規定を設け、開催します。

大人の視点からは、即座に意思決定が運ばない・成果が出ない・“失敗だ”と映ることもあるかもしれませんが、「試合成績＝成長」とは限りません。選手自らの意思による様々な実体験を通じて、未来への成長に向けた大切なきっかけとなる1日を創出できるよう皆様のご理解をお願いします。

- (1) ハーフタイム・試合終了後には、当該2チームの選手が合同でミーティングを行い、試合の振り返りや次なる展開のイメージを深めるとともに、コミュニケーションを通じてゲームパートナーの魅力を認識し、相互に高め合う機会とします。
- (2) チームスタッフや応援者等は、スターティングメンバー、選手交代、ポジション、プレーなどに関することについてコーチングをしません。
- (3) チームスタッフは、当該試合の実施中、テクニカルテーブル内にて待機し、事故発生等により対応を要する場合に限りチームベンチ・フィールド内で活動できるものとします。
- (4) 当該試合のチームスタッフは、(1)の2チーム合同ミーティングにおけるファシリテーターとしてミーティング活性のための目的でのみ支援する場合があります。
- (5) 応援者等は、所定の観覧スペースから試合を観覧することができますが、上記の趣旨をふまえ、適切な行動をおとりくださいますようお願いとご協力をお願いします。(決して声援そのものがNGということではありません。ただし、その表現については本大会の趣旨をとらえたものとしてください。大人の皆さんにとっても、子どもたちとの関わり方、接し方について見つめ直すきっかけになればと考えています。)

## [プレー制限の解除(試験的運用)]

小学男子の部・小学女子の部の試合では、日本ホッケー協会レギュレーションにより制限のある次のプレーについて、当該チーム双方の合意がある場合には、制限を解除する(競技規則に定めるルールにて通常どおり実施することとします。

試験的運用として、試合毎に双方協議の上で設定します。

- (1) ハイスティックによるプレー
- (2) 振りかぶってのリバースヒット

## [試合時間]

各試合のタイムスケジュールは、次のとおりとします。

前半12分、ハーフタイムミーティング5分、後半12分

試合終了後ミーティング5分程度(試合終了後のミーティングは、ベンチを空けてから実施)

## [リーグ戦における順位の決定方法]

- (1) 「勝点」の多いチームを上位とします。「勝点」は、勝ちチームに3点、引き分けチームに1点、負けチームに0点をそれぞれ加点します。
- (2) 「勝点」同点のチームが複数ある場合、次の順序に従って順位を決定します。
  - A. 「勝利数」の多いチーム
  - B. 「得失点差」で正の数大きいチーム
  - C. 「総得点」の多いチーム
  - D. 当該チーム間の試合で勝利したチーム

## [SO戦]

リーグの全試合を終了後、リーグ順位が決しないとき、または、トーナメント等において規定の時間内に勝敗の決しないときは、SO戦を行い、勝敗を決します。

ただし、大会進行上、順位決定の必要がない場合は、SO戦は実施しません。